

事業の目的

奄美大島の北部に位置する宇宿貝塚史跡公園は、薩南諸島の先史時代の人々の暮らしを知るうえで非常に重要な施設です。令和6年度に展示空間がリニューアルされましたが、観光拠点と呼べる機能がまだまだ十分ではない。

今回の提案では、SDGsや省エネルギー化、ユニバーサルデザイン、コストバランスの観点から、奄美大島の縄文生活・環境文化発信の拠点として必要な機能を備えることで、独自性の高い、より魅力的な観光・教育・環境の拠点として来場者及び観光消費額の増加、満足度の向上を目指す。

さらに再生可能エネルギーの提案により、ライフサイクルコストの低減や省エネルギー化に寄与することでサステナブルな観光拠点として整備する。

事業期間：契約締結の日から令和8年3月31日まで



事業費：119,985,745円
条件：国庫補助事業の採択

事業の効果

SDGs や省エネルギー化、ユニバーサルデザイン、コストバランスなどの観点から、奄美大島の縄文生活・環境文化発信の拠点として必要な機能を備えることで、独自性の高い、より魅力的な観光・教育・環境の拠点として来場者及び観光消費額の増加、満足度の向上が期待される。

さらに再生可能エネルギーの提案により、ライフサイクルコストの低減や省エネルギー化に寄与することでサステナビリティな施設の維持管理を実現する。

市の評価ポイント

提案内容について、審査員7名による採点を行った結果997/1,400点であり採択基準の60%を超えた。

離島ならではの地域特性を把握している設計・施工企業で構築された実施体制であること、設計施工一体型で実施する事による工期の短縮やコスト削減等の可能性も高いと評価される。

今後は、詳細な協議を行い、事業を最適化していく必要がある。